



私の議員活動に対し、日頃よりご理解・ご協力を賜り、心から感謝と御礼を申し上げます。北海道議会議員として2年目を迎えるなか、令和2年度予算の審議に向け、第1回定例会が開催されましたが、新型コロナウイルス対策として『3密』を避けるために、1時間ごとの議場内換気がおこなわれ、各派代表質問及び一般質問など異例な議会運営となりました。

現在、新型コロナウイルス感染症は、世界的な広がりをみせており、日本においても都市部を中心とした感染の急速な感染拡大を受け、4月6日に改正新型コロナウイルス対策特別措置法に基づく緊急事態宣言を7都市に発令し、さらに4月16日には対象を全都道府県に拡大して発令、いまだ事態の収束は見通せない状況にあります。

北海道においては、国に先駆けた独自の『緊急事態宣言』のなか、小中学校の一斉休校や不要不急の外出自粛など、一定の効果を上げてきておりましたが、4月以降の増加を踏まえ『特定

警戒都道府県』に位置づけられ、危機意識を高め感染拡大防止に向け、取組を強化しなければと考えており、特に医療の現場においては、医師・看護師などの人材不足や、院内感染によって危機的状況にあります。

また、外出の自粛や観光客の減少などにより、観光業や飲食業、小売業をはじめ幅広い業種で影響が拡大し、製造業などでも部品・原料調達ができないことによる受注・販売機会の損失が見られるなど、道内の中小・小規模企業の経営環境は大変に厳しい状況になっております。

さらに、雇用の維持や従業員の生活安定など様々な影響が出ております。

そうした中、2月・3月・4月に開催された保健福祉委員会においては、新型コロナウイルス対策に向け、道民の生命を守るために、①正確な情報発信と相談体制の拡充。②報道機関への対応。③検査体制の拡充。④医療体制を含めた病床数の確保・拡充。⑤軽症者の対応（ホテルなど宿泊先の確保）。⑥医

療従事者や感染者への偏見・差別への対応。など多くの質問をさせていただきました。

また、先日4月28日(火)に北海道議会において、令和2年度補正予算(新型コロナウイルス対策予算・784億4400万円)に向け、臨時議会が招集、議決されましたので関係資料をお届けいたします。

今後もスピード感を持って、道政課題に対応してまいります。

